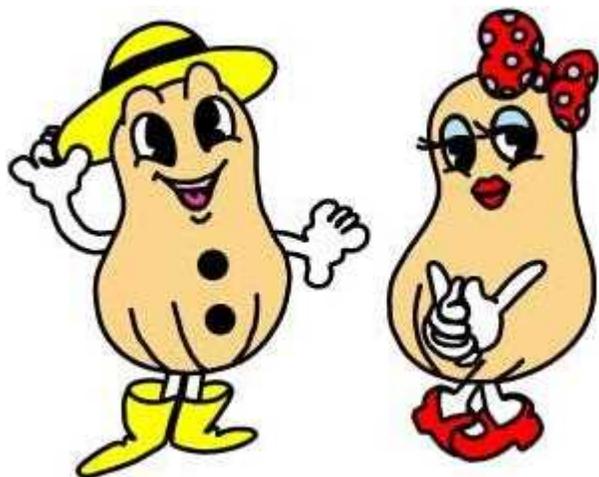


# まちづくり活動に関するアンケート

## 分析結果の報告書



令和6年5月  
八街市役所 市民協働推進課

## 調査概要

### 調査目的

『第2次八街市協働のまちづくり推進計画』に基づき、市民参加を促す施策を検討するための基礎情報の収集を行い、調査結果を施策立案に活かす。

### 調査時期

令和6年1月から2月（アンケート発送日は1月4日）

### 調査方法

- ✓ 八街市に在住する18歳以上の男女（令和5年4月1日時点）に、郵送でアンケートを依頼
- ✓ 男女2,500名を無作為抽出（年齢に偏りがないように配慮）
- ✓ アンケート回答は「郵送」または「オンライン」

### 回収結果

- ✓ 546名から回答を得た（回収票数）。
- ✓ 回答不備などのある回収票を除き、分析対象とした回答者数は、**527名（有効回収率：21%）**

※分析対象とした回答者の年齢構成比は、八街市の年齢構成比に比べて偏りがあった。八街市の年齢構成比に合わせる補正集計（ウェイトバック集計）を検討したが、補正有無での集計結果に大きな差異は見られなかった。回答者の回答誤差（全数ベースで4.4%/統計的有意差レベル95%）よりも低い差分であった。このことから**ウェイトバック集計を適用していない**。

※男女比（男性：女性）：八街市（52%：48%）、アンケート回答者（48%：52%）

# 対象者の属性

	全体	性別		年齢別						八街市の 構成比	補正 ウェイト	
		男性	女性	18-29 才	30代	40代	50代	60代	70才以 上			
(回答ベース)	(513)	(244)	(269)	(34)	(44)	(55)	(92)	(105)	(183)			
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%		
年齢	18-29	7	5	8	100	0	0	0	0	0	13	1.87
	30代	9	6	11	0	100	0	0	0	0	11	1.32
	40代	11	8	13	0	0	100	0	0	0	14	1.30
	50代	18	17	19	0	0	0	100	0	0	18	0.99
	60代	20	22	19	0	0	0	0	100	0	17	0.87
	70歳以上	36	42	30	0	0	0	0	0	100	27	0.74

	(回答ベース)	%	%	%	%	%	%	%	%	%
二人(夫婦)	37	44	32	3	16	6	32	47	55	
親子(二世帯)	44	41	46	83	71	69	49	40	23	
親子(三世帯)	7	5	8	6	7	17	6	6	5	
その他	1	0	2	3	0	2	1	0	2	

※参考指標  
八街市の年齢構成  
比/この構成比に  
合わせるための  
ウェイト

	(回答ベース)	%	%	%	%	%	%	%	%
転入	77	72	82	33	76	75	84	83	79

	(回答ベース)	%	%	%	%	%	%	%	%
11年-20年	16	11	18	17	21	42	27	5	7
21年-30年	34	36	32	17	15	28	46	46	28
31年-40年	25	29	23	0	3	14	11	37	37
40年以上	18	21	16	0	0	2	10	13	36



# 対象者の属性

	全体	性別		年齢別					
		男性	女性	18-29才	30代	40代	50代	60代	70才以上
(回答ベース)	(509)	(233)	(262)	(36)	(45)	(55)	(94)	(105)	(174)
問39-1 まちづくりに活用できる空き家／空き店舗	%	%	%	%	%	%	%	%	%
まちづくりに活用できる 持っている	2	3	2	0	0	2	4	1	3
空き家や空き店舗 持っていない	98	97	98	100	100	98	96	99	97

	(回答ベース)								
		#	#	#	#	#	#	#	#
問39-2	(11)	(6)	(5)	—	—	(1)	(4)	(1)	(5)
回答者：持っている人	#	#	#	#	#	#	#	#	#
既に貸している	2	2	0			0	2	0	0
貸し出しする考え 貸していないが貸してもよい	6	3	3			1	2	1	2
貸したくない	3	1	2			0	0	0	3

	(回答ベース)								
		%	%	%	%	%	%	%	%
問40-1	(508)	(234)	(260)	(36)	(45)	(54)	(94)	(105)	(174)
まちづくりに活用できる 休耕地や 空きスペースなどの土地	%	%	%	%	%	%	%	%	%
まちづくりに活用できる 持っている	5	6	3	0	2	4	5	6	5
休耕地 持っていない	95	94	97	100	98	96	95	94	95

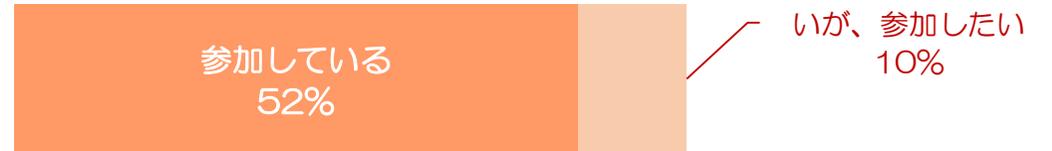
	(回答ベース)								
		%	#	#	#	#	#	#	#
問40-2	(23)	(14)	(9)	—	(1)	(2)	(5)	(6)	(9)
回答者：持っている人	%	#	#	#	#	#	#	#	#
既に貸している	26	3	3		0	1	2	0	3
貸し出しする考え 貸していないが貸してもよい	57	9	4		1	1	2	5	4
貸したくない	13	2	1		0	0	1	1	2

※ 「#」実数 / 「—」回答なし

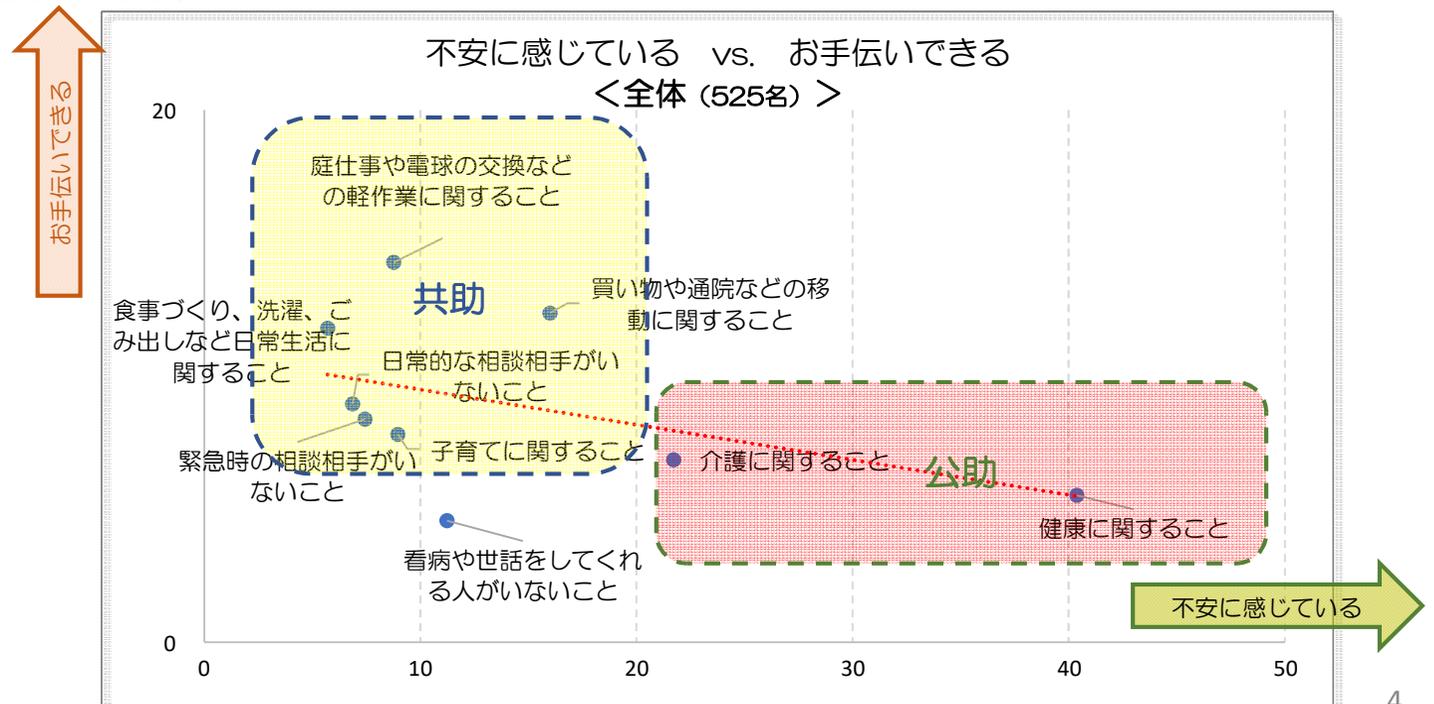


## 結果のまとめ（1）

- 地域活動の参加率は、52%。いまは非参加だが、機会あれば参加したい割合を加えると、地域活動参加率（可能性）は、62%。回答者の3分の2は、参加することに前向きである。
- 参加率の高い地域活動は、「区・自治会・町内会」活動（36%）。



- 日常生活で「不安に感じる」と「少しならお手伝いできる」の回答割合の関係をグラフにすると、回答者の『共助』で出来ること、『公助』で対応することに分けられる。それぞれの課題に応じた適切/最適な施策を実施する必要がある。



## 結果のまとめ（2）

- 地域活動に参加した「きっかけ」の最大の理由は、「近所付き合いで参加せざるを得なかった」。
- 活動の「妨げ」となった最大の理由は「忙しく時間がない」。二番目の理由は男性と女性とで異なり、男性は「興味がない」、女性は「自分の時間が減るのが嫌」。
- 自分が共感できる、自分の価値観に合うなどの合理的な理由、納得できる意味づけが出来るような地域活動についてのメッセージを発信することが重要である。

- 八街市の協働のまちづくりの取り組みを好意的に評価している割合は、34%（3人に1人）。

十分に取り組んでいる

2%

多少取り組んでいる  
32%

あまり取り組んでいない  
51%

全く取り組んでいない  
14%

- 八街市の取り組みの評価と、それぞれの地域活動への満足度評価との関連性を分析した。八街市の取り組み評価に大きな影響を与える地域活動を探る目的である（影響指数を探る/結果は次ページ）。



## 結果のまとめ (3)

- 市役所のまちづくり活動の評価に影響を与えている現在の地域活動の満足度との関連を分析することで、市民の評価との関連を知ることができる。市役所のまちづくり活動の今後の方向性を検討する指針となる。

※ ✓マークの付く活動は、市役所の評価に影響を与えている

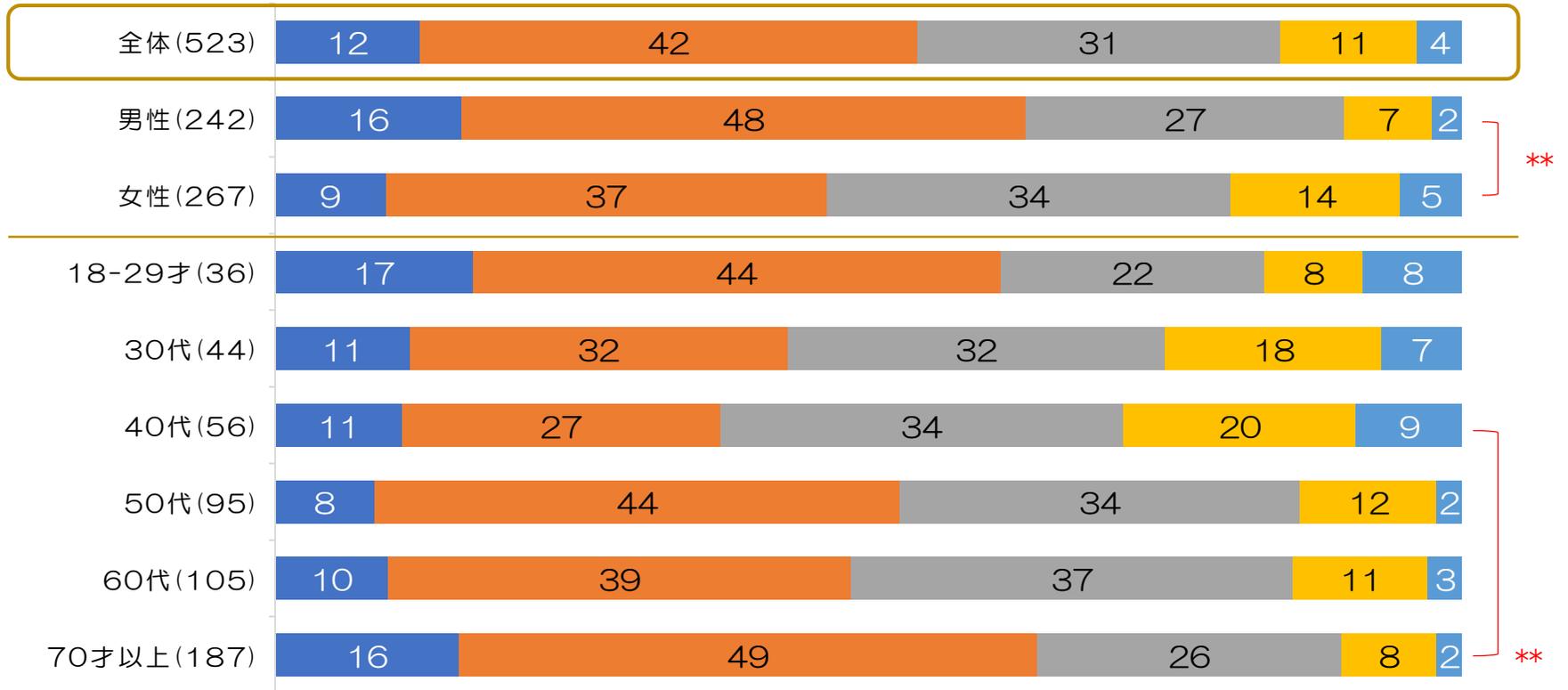
	全体	男性	女性	30代	40代	50代	60代	70代以上
住民同士が交流できる場	-	-	-	-	-	-	-	-
草刈りや道路の側溝清掃など、地域内の環境美化活動	-	-	✓	-	-	-	-	-
避難訓練など、防災活動	-	-	-	-	-	-	-	-
地域の見回りなど、防犯活動	✓	-	-	-	✓	-	✓	-
公園や集会所などの維持管理	-	-	-	✓	-	-	-	-
夏祭りなど、地域の交流行事	-	-	-	-	-	-	-	-
自然や文化財の散策など、地域の魅力を体験する活動	✓	✓✓	-	-	-	-	-	✓
高齢者サロンなど、主に高齢者が対象の活動	-	-	✓✓	-	✓✓	-	-	-
サークル活動など、生涯学習関連の活動	✓	-	-	-	-	✓	-	-
健康体操など、健康づくりの活動	✓	✓✓	-	-	-	-	-	-
買い物や通院など、移動支援の活動	-	-	-	-	-	-	-	-
子ども会など、主に子どもが対象の活動	-	✓	-	-	✓	-	-	✓
登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動	-	-	✓	-	-	-	-	-
子育てなどの相談ができる場や人	✓	-	-	-	-	-	-	-
子育て中の保護者同士が交流できる場	-	-	-	-	-	-	-	-
日常的な不安や悩みを相談できる場や人	-	-	-	✓✓	-	-	-	-
地域づくりの今後の進め方について話し合う場や機会	-	-	-	-	-	-	-	-
農地や山林などの維持管理	-	-	-	-	-	-	-	-
空き家の管理に関する活動	-	✓	-	-	-	-	✓	-
地域の広報誌の作成・回覧	✓	✓	-	-	-	-	✓	-
電子メールなど、インターネットを活用した会員向けの周知・連絡	-	-	-	-	-	-	✓✓	-
ブログやインスタグラムなど、インターネットを活用した対外的な広報	✓	-	-	-	-	-	-	-

結果は縦に解釈



## あなたは現在住んでいる地域にどれくらい愛着がありますか（問5）

- 回答者全体の半数が「愛着がある」と回答している。
- 女性よりも男性の愛着度合いが高く、30代、40代では他の年代よりも愛着度合いが低い傾向がみられる。
- 特に、40代と70代では愛着度合いに大きな差異がある。



■ とても愛着がある   
 ■ 愛着がある   
 ■ どちらともいえない   
 ■ あまり愛着がない   
 ■ 全く愛着がない

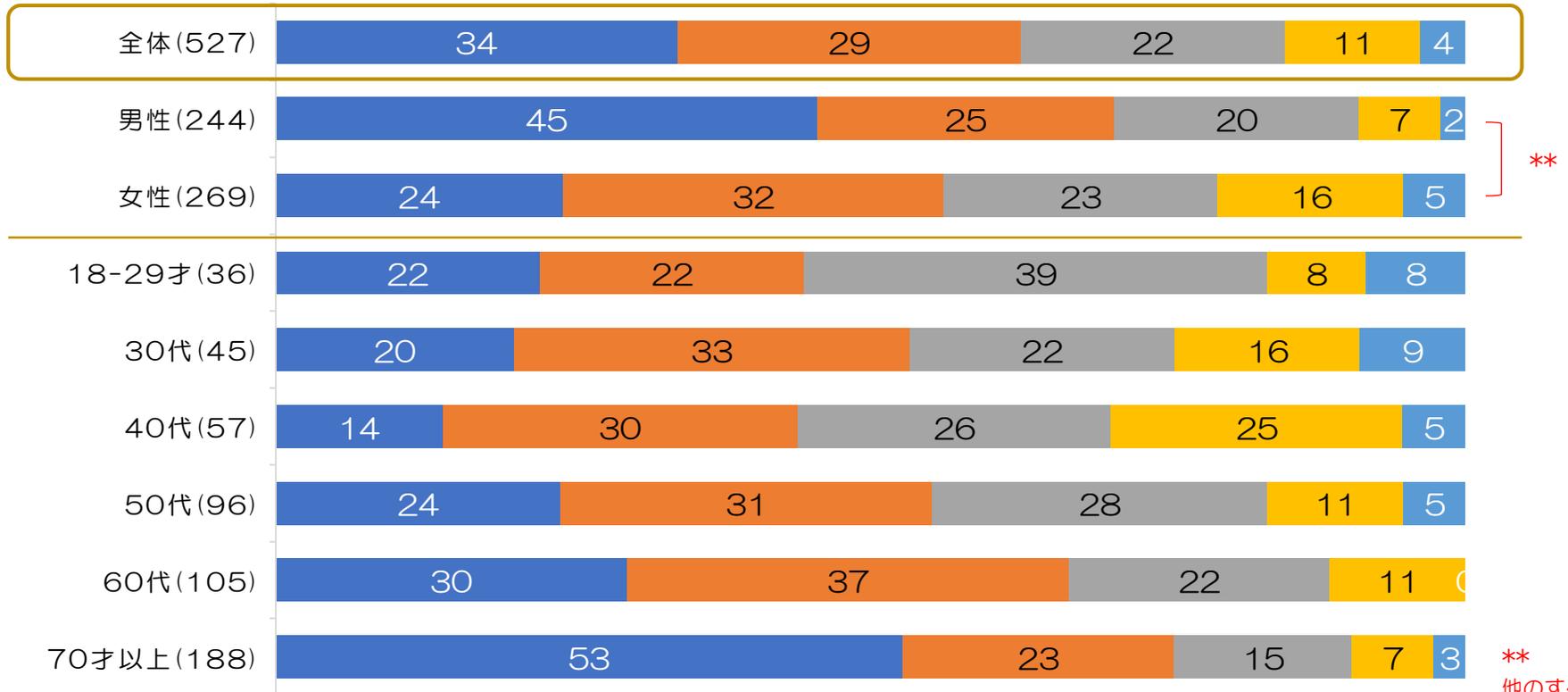
( ) 内の数値は回答ベース/グラフ数値は%

統計的な有意差：\*\*99% \*95%



## あなたは今後も今お住まいの地域に住み続けたいと思いますか（問6）

- 回答者全体の3分の2が「住みたい」と回答している。
- 男性の約半数が「ずっと住みたい」と思っているが、女性で「ずっと住みたい」と思うのは女性の4分の1。
- 年齢別では、「ずっと住みたい」割合は70代で圧倒的に多く、若い層では2割前後の回答割合となっている。
- 40代の層では30%が「転居したい」と回答している。



■ ずっと住みたい ■ 当分の間は住みたい ■ どちらともいえない ■ できるなら転居したい ■ 転居したい

( ) 内の数値は回答ベース/グラフ数値は%

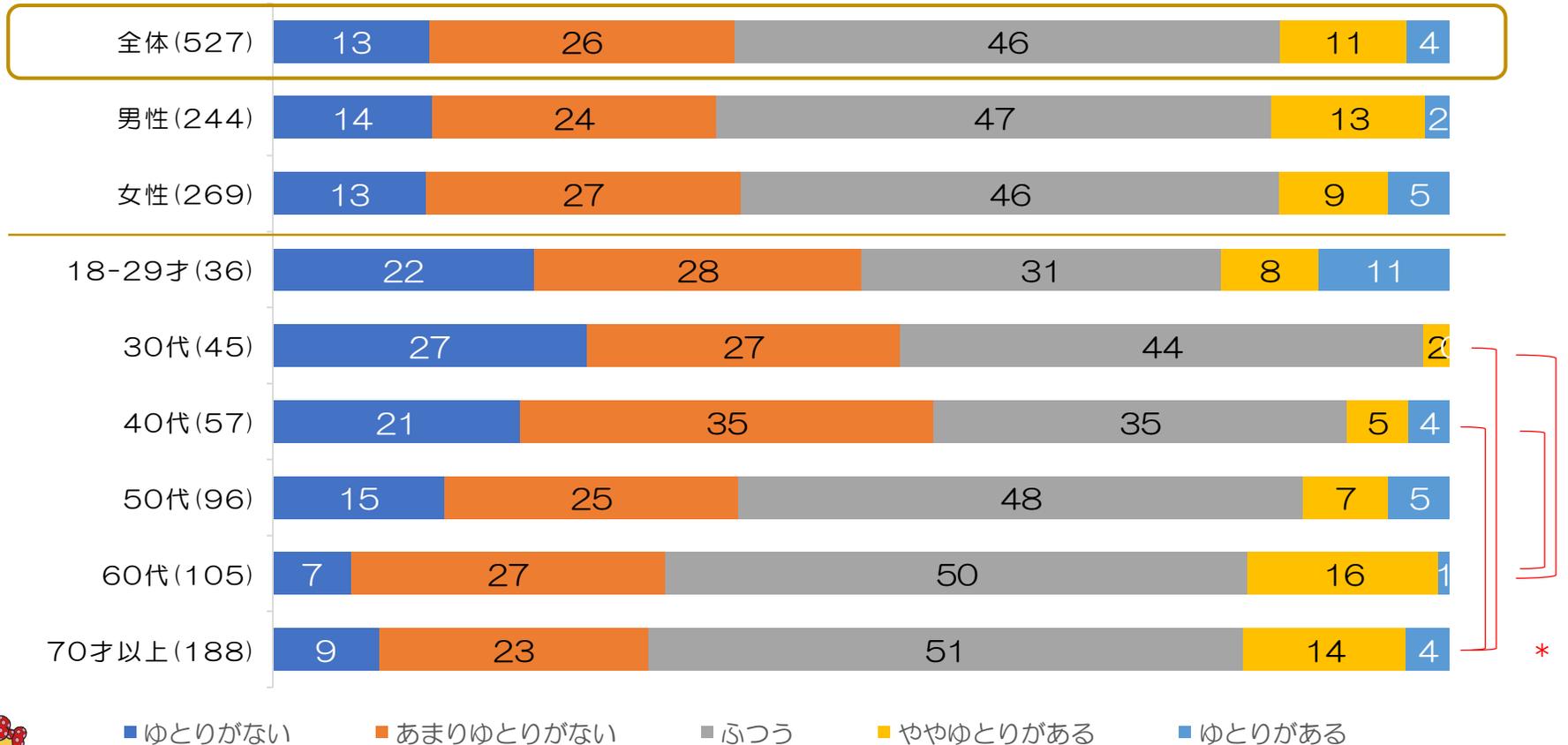
統計的な有意差：\*\*99% \*95%

\*\*  
他のすべての年代に対して



## 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（問7）

- 回答者全体の39%が「ゆとりがない」と回答しており、「ゆとりがある」回答割合は15%である。
- ゆとりの感じ方には男女差はみられない。
- 年齢別では、60代以上の「ゆとりがある」回答割合は20%弱と、「18-29才」の層を除く若い層よりも多い。
- 30代、40代の層では約半数が「ゆとりがない」と回答している。



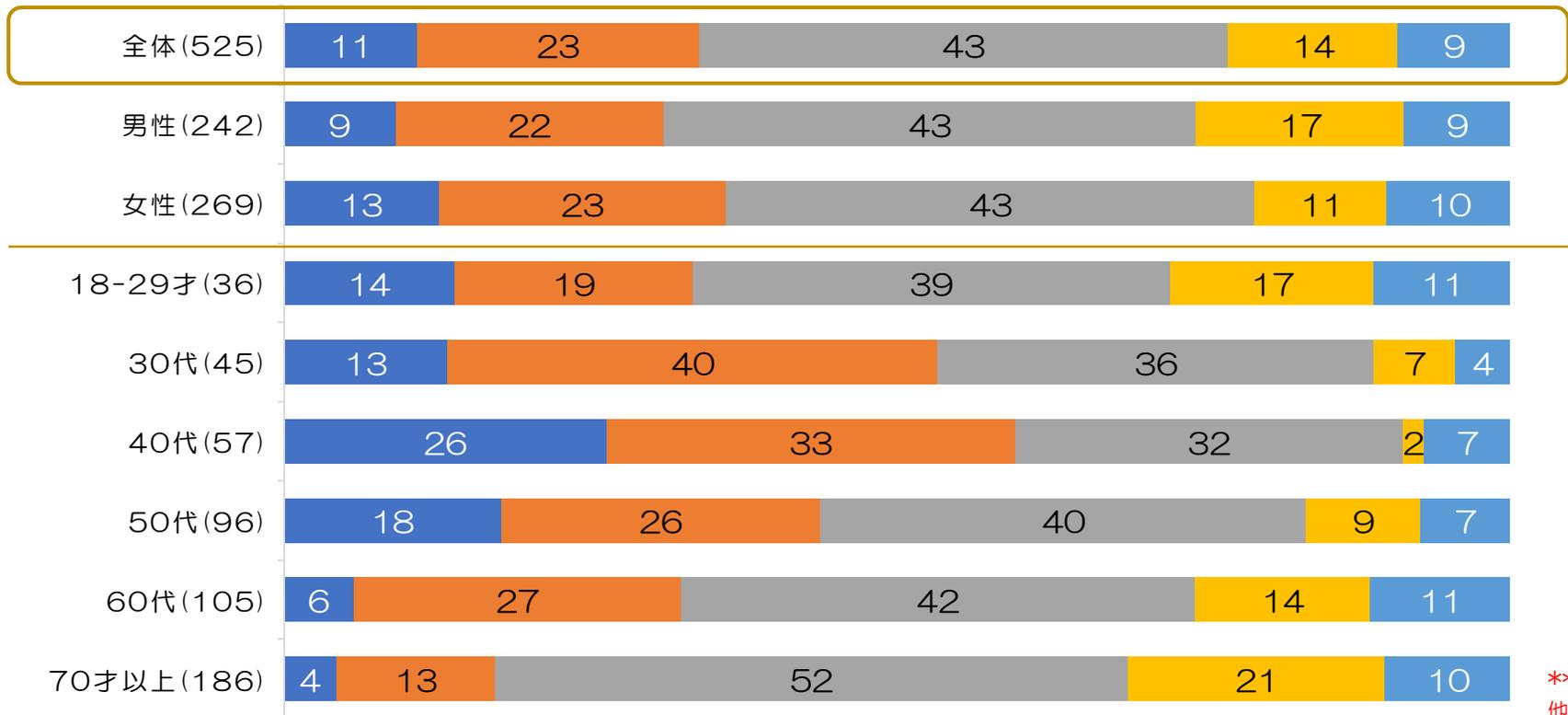
( ) 内の数値は回答ベース/グラフ数値は%

統計的な有意差：\*\*99% \*95%



## 現在の暮らしの状況を時間的にみてどう感じていますか（問8）

- 回答者全体の34%が「ゆとりがない」と回答しており、「ゆとりがある」回答割合は23%である。
- ゆとりの感じ方には男女差はみられない。
- 年齢別では、70代の「ゆとりがある」回答割合は31%と、他の若い層よりも多い。
- 40代の層では59%が「ゆとりがない」と回答している。



■ ゆとりがない   
 ■ あまりゆとりがない   
 ■ ふつう   
 ■ ややゆとりがある   
 ■ ゆとりがある

( ) 内の数値は回答ベース/グラフ数値は%

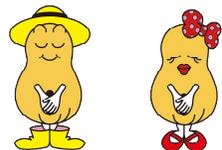
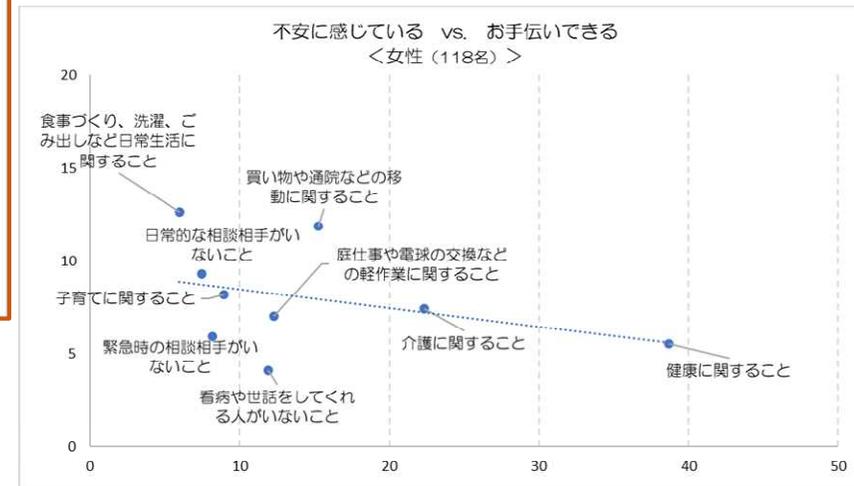
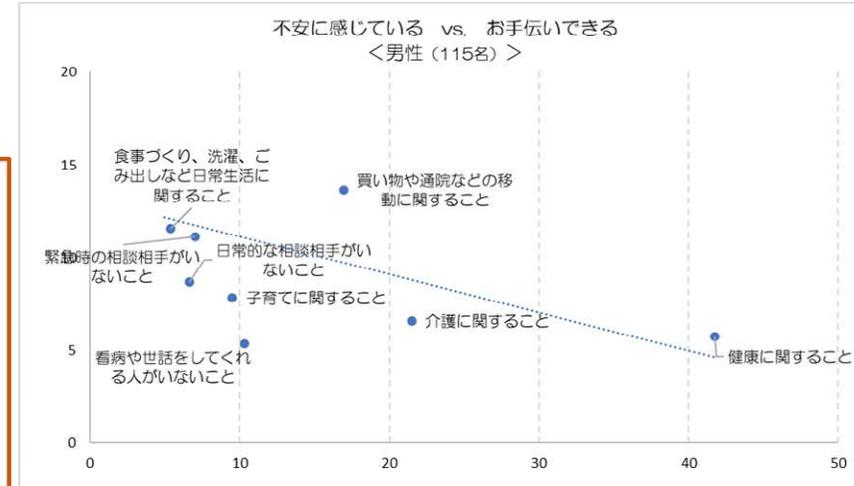
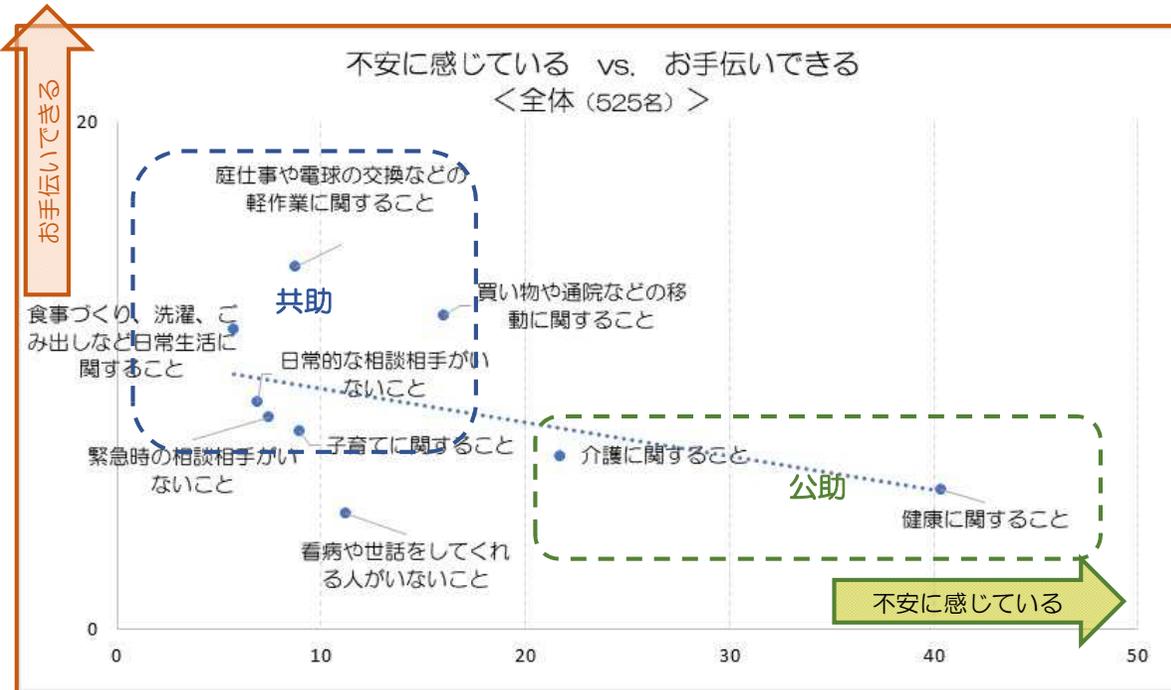
統計的な有意差：\*\*99% \*95%

\*\*  
他のすべての  
年代に対して



## 日常生活で不安に感じる事／少しならお手伝いできる事（問9）

- 健康に関する不安が最も強く、次いで介護や移動手段の不安が多い回答となっている。男女で回答傾向の違いは見られない。
- 「お手伝いできる」ことは、軽作業、日常生活に関する回答割合が相対的に多い。
- 破線の回帰線（各表示ポイントの平均となる線）を基準にすると、回帰線の上側は『共助』、下側は『公助』で取り組む課題と言えそうである。
- 「お手伝いできる」回答割合は平均10%と多くないが、『共助』で取り組める課題が多くあり、協力する気持ち/意思を示す方がいることを示している。地域コミュニティづくりが重要なポイントである。



数値 (%)

## 地域活動への参加状況（問10-1）

- 「区・自治会・町内会」活動の割合が最も多く全体の36%。参加意向者を含めると40%となっている。次いで、「地産地消」「寄付活動」「サークル/ボランティア活動」の順となる。
- 自治会活動は、女性よりも男性、60代以上の参加割合が高い傾向となっている。
- 30代の層では「地産地消」への関心が高く、29才以下では「スポーツ/特技などを活かした活動」への関心が高い。



参加している（左側）  
今は参加していないが今後参加したい（右側）

数値（%）／回答ベースは各項目回答者

## 地域活動に参加したきっかけ／活動の妨げ（問10-2/3）

- 「近所付き合い」が一番大きなきっかけで、次いで「興味関心」「地域貢献」となっている。男性では「近所付き合い」が最も多いが、女性では「興味関心」の回答が最も多い。
- 活動の妨げとして回答された理由では、「忙しくて時間がない」の回答割合が全体の3分の1。男性は女性よりも「興味がない」回答割合が多く、女性は「自分の時間が減るのが嫌」の回答が男性よりもかなり多い結果となっている。

### きっかけ

	全体 (273名)	男性 (138名)	女性 (129名)
近所付き合いで参加せざるを得なかった	37	41	29
興味関心があった	27	21	35
地域に貢献	25	30	22
交友関係を広げたい	14	15	12
自分の知識や経験、特技を活かしたい	14	17	10
気軽に参加できる	12	8	16
知人に誘われて興味湧いた	8	9	9
信用できる団体	8	7	8
おもしろそうだった	7	6	9
知人に誘われて断れなかった	4	5	2

### 妨げ

	全体 (185名)	男性 (80名)	女性 (98名)
忙しくて時間がない	36	33	42
興味がない	24	31	18
経済的な余裕がない	18	16	18
仲間がいない	16	16	15
面倒くさい	15	14	14
近所付き合いが煩わしい	15	10	16
歳をとった	15	18	12
自分の時間が減るのが嫌	14	6	20
病気やけがをしている	14	15	12
場所や施設がない	10	8	11
参加方法がわからない	10	10	9
一度参加すると抜けられない	9	3	10
指導者がいない	3	3	4
身体を動かすことが嫌い	3	4	1
その他	10	13	8

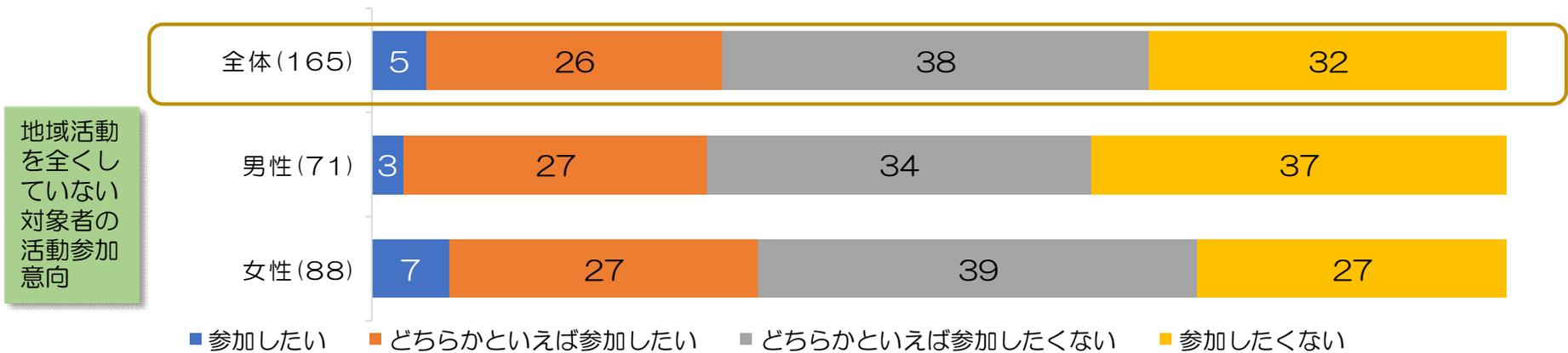
( ) 内の数値は回答ベース／グラフ数値は%



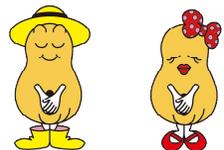
交流できる場が身近にあれば参加したいですか（地域活動に全く参加していない対象者）（問10-4）

地域住民が有志によって、にぎわいのあるまちづくりの取り組みを進めるとしたら、その活動に参加しますか（問11-1）

- 地域活動を全くしていない人の「活動参加意向」割合は31%。男女差は見られない。
- 地域住民によるまちづくりの取り組みについては、半数が「参加者として参加したい」と回答している。
- 地域活動への関心は高いと言えそうである。



( ) 内の数値は回答ベース/グラフ数値は%



・安全・安心の日常化 ・30年以内に大地震発生が報じられている。ハザードマップを中心とした地域防災のあり方 ・過去の台風による風水害を学び ・シルバー層の生活応援隊 ・社会教育からコミュニティスクールの充実

・結婚相手を見つける企画で、八街からカップルをいっぱい出したい。相性を見てあげながら、バレーボール大会、お見合いパーティー（ねるとん）、バス大会、大会、イモ掘り大会、落花生等。・旅行企画[sanitize]温泉に行きましょう。・老人ホームの紹介、（安全に生活できる場所をつくってきたい。）

・私は保育士として仕事をすることがあるので、子ども その保護者また地域を含めて参加できる行事などがあれば参加（お世話役）したいと考えています。 ・私の住むところの小学校は各学年1クラスと聞きました。少子化が進むなかで交流できる範囲が小さくなっているように感じています。各学校のみでの行事・活動だけではなく、市内にある学校の児童・生徒が交流できるような企画を考える場（機会）があれば参加したいです。またそのような企画を提案できればと考えています。その際はお時間を少々いただければうれしく思います。

・八街市の活気あふれるまちづくり ・市民のふれあいのできる施設計画 ・子どもの遊び施設

インフラ整備、経済振興

スポーツ

スポーツは年をとって転んだら怪我するリスクが多いと参加できない。でもボランティアにはすごく興味があり、今、一人暮らしの老人のところへ何力所か行っているが、みんなすごくお話が好きだけど、家の外に出たくない、めんどくさいが一番なので、近くで地域交流があるといいのにと思っている。

それほど、拘束時間の無いものでしたら休日に限り少しだけお手伝いできます。フルタイムで仕事をしているため限られますが・・・。

どんど焼き 子どもの頃の楽しい思い出があるから子どもたちに味わってもらいたい。

フードパントリーのようなものに参加したいと考えています。

ワイヤレス人材育成の一環として、若い世代に無線工学を伝えてみたい。

育てやすい町づくり

屋台が出るような楽しいお祭り

家族的な雰囲気我希望。私は下町で育って八街に越してきました。

介護福祉に携わった者として、まちづくりに参画したい。10年後、20年後を考えてまちづくりをしないと、八街市は人口が減る一方だと思えます。高校を特化させてまちづくりをして成功した例とか、いろいろあると思いますが、まずは女性目線を取り入れることから始めると、杉並区の例もあります。今すべきことと未来を見据えることを同時進行は難しいですが、やちぼこりも1年に何回もなくなってきましたので、駅へのアクセスを楽しいものにする。自転車ロード、散歩ロード、公園の整備、空き家対策と同時に未来志向で進んで欲しいと思えます。とにかく、八街は歩道が狭く汚すぎます。中央から整備していくとみんなの意識も変わるのかと思いたいです。

学校の警備、交通危険箇所調査、違法建築の調査、都市計画課の支援、歩道の整備が急務

企画側で参加者を募りたい

現在もゴルフやカラオケの会を企画実行し続けています。地域交流を長く続けることが大切です。

孤独な生活からの脱却

高齢者のためになる企画や手伝い

高齢者の孤立に対する改善

趣味を生かして、みなさんに紹介したい

地域住民の交流、街おこし、若い人の定住化、農作物の拡大、農家と住民の交流等

地域住民間の繋がりを希薄に感じるので、お互いを知るための小さな集まり(具体的な案はありませんが、行事と呼ぶような規模ではないもの)を催す程度のことですが。ただの思いつきで申し訳ありませんが、外国人の困り事に協力するとか(翻訳アプリで何とかあります)、お年寄り家庭の庭木の果実収穫をお手伝いするとか。困り事を共有し協力し合うことで、お互いがわかるようになると思います。運営という話とはズレてますね、すみません。気づきからの人集め、程度の話です。

地域内が活性化していないと思う。企画・運営をして地域を活性化させたい。したい。すると、話し相手もでき、孤立化を防げる。

八街市の特性を世の中に伝える

八街市は広いので、緊急時、未経験のことが起きたときの対処が難しいときがあるので、自分にできることがあれば、お手伝いさせて頂ければと思います。自信も手をお借りしたいとも思います。

八街市の取組を自身も含めてですが、知らないことがたくさんあります。

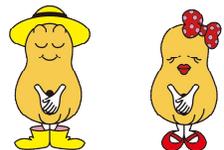
取組等を周知しやすい取組があればと感じます。

放課後や休日の子どもの居場所づくりや食事の提供。子どもが自然の中で楽しめるイベント。

防犯、防災の防災器具の設置など、火災予防対策など、声かけ運動

若者男女問わず関わられる場を作りたい。

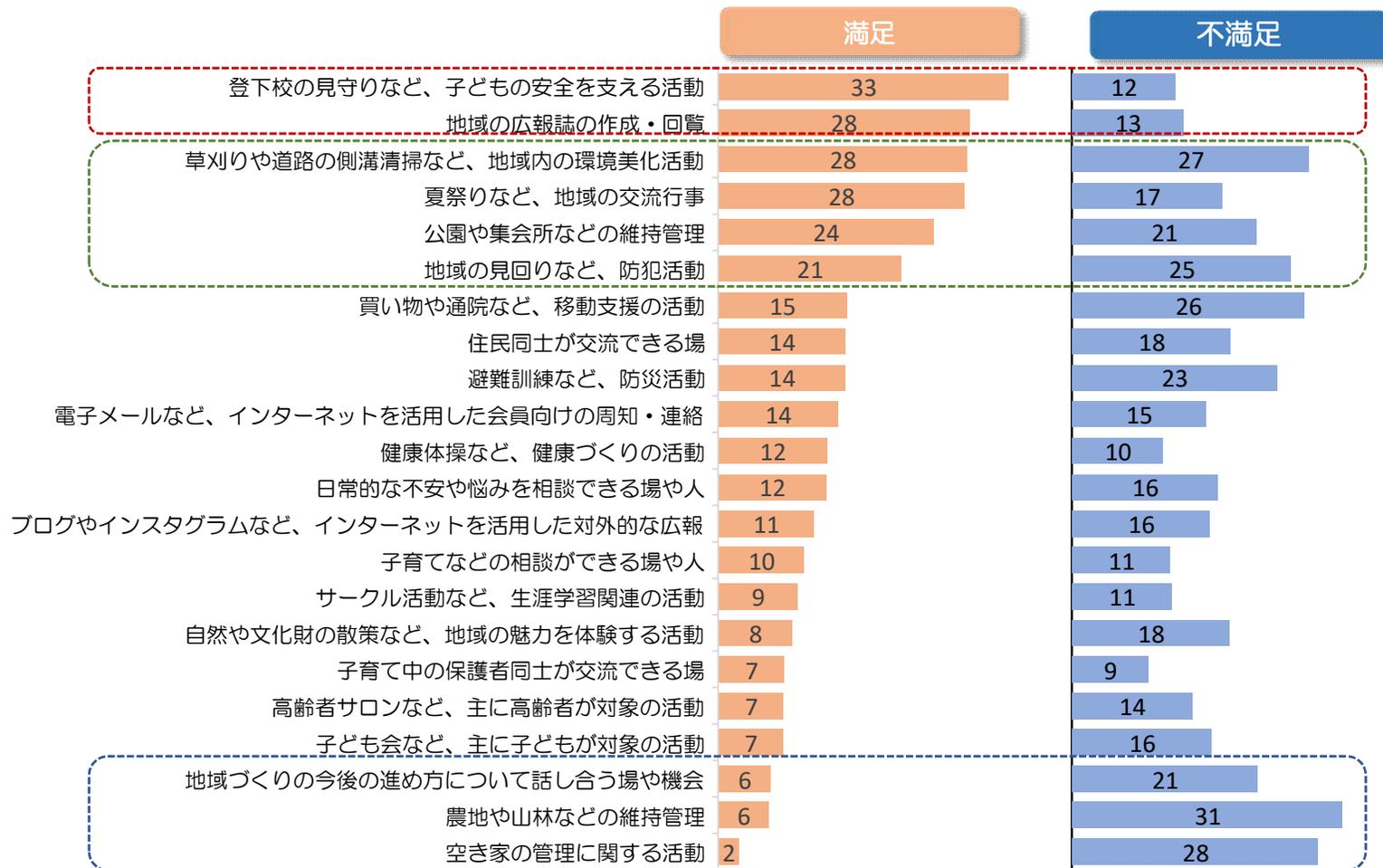
ご年配の方々の力になれることがしたい。



※回答内容をそのまま掲載

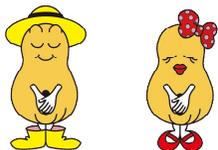
# 地域内の各種団体（区・自治会やNPO、ボランティア団体など）の地域活動（22項目）についての満足度（問12～問33）

- 全体的に「満足」よりも「不満足」の回答割合の評価項目が多い。
- 満足度の高い項目は、「子どもの安全を支える」「地域の広報誌」。逆に不満足度の高い項目は、「農地や山林の維持管理/空き家管理」と「地域づくりの進め方を話し合う場や機会」。
- 「地域の環境美化活動」については満足と不満足の回答割合が同じとなっている。居住地域による違いと思われる。同様の傾向は「交流行事」「公園や集会所の維持管理」「防犯活動」の評価にも表れている。



数値 (%) / 回答ベースは各項目回答者

※5段階評価で質問/満足と不満足の結果を掲載/掲載していない回答は「どちらともいえない」



# 地域内の各種団体（区・自治会やNPO、ボランティア団体など）の地域活動についての満足度（問12～問33）

- 性別、年齢別の回答結果は以下のとおり。

1 / 4

	全体 (492)	男性 (232)	女性 (247)	18-29才 (35)	30代 (44)	40代 (55)	50代 (95)	60代 (102)	70才以上 (161)
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
<b>住民同士が交流できる場</b>									
満足	14	17	12	26	11	7	8	10	22
不満	18	16	19	11	14	22	16	19	20
差分(満足-不満)	-3	1	-7	14	-2	-15	-7	-9	2
<b>草刈りや道路の側溝清掃など、地域内の環境美化活動</b>									
満足	28	30	27	22	33	15	24	35	30
不満	27	25	29	31	29	40	26	23	24
差分(満足-不満)	1	5	-2	-8	4	-25	-1	12	7
<b>避難訓練など、防災活動</b>									
満足	14	16	13	17	13	11	11	17	16
不満	23	21	24	25	16	16	18	23	30
差分(満足-不満)	-9	-5	-12	-8	-2	-5	-7	-7	-14
<b>地域の見回りなど、防犯活動</b>									
満足	21	20	22	19	29	18	13	25	21
不満	25	24	25	25	24	25	24	16	31
差分(満足-不満)	-4	-3	-3	-6	4	-7	-12	10	-9
<b>公園や集会所などの維持管理</b>									
満足	24	28	22	17	16	20	28	20	30
不満	21	19	21	44	36	18	14	17	19
差分(満足-不満)	4	8	0	-28	-20	2	15	4	11
<b>夏祭りなど、地域の交流行事</b>									
満足	28	26	29	36	42	29	23	27	25
不満	17	16	18	25	9	9	16	15	22
差分(満足-不満)	11	10	12	11	33	20	7	13	2

※5段階評価で質問/満足と不満の結果を掲載/掲載していない回答は「どちらともいえない」

( )内の数値は回答ベース/グラフ数値は%



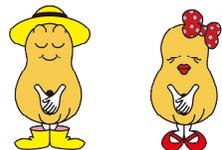
地域内の各種団体（区・自治会やNPO、ボランティア団体など）の地域活動についての満足度（問12～問33）

2 / 4

	全体 (492)	男性 (232)	女性 (247)	18-29才 (35)	30代 (44)	40代 (55)	50代 (95)	60代 (102)	70才以上 (161)
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
自然や文化財の散策など、地域の魅力を体験する活動									
満足	8	9	8	11	16	7	9	2	10
不満	18	18	17	23	11	13	18	12	24
差分(満足-不満)	-9	-9	-9	-11	4	-5	-10	-10	-14
高齢者サロンなど、主に高齢者が対象の活動									
満足	7	8	6	8	4	4	4	3	14
不満	14	15	11	17	7	11	12	7	21
差分(満足-不満)	-6	-7	-5	-8	-2	-7	-8	-4	-7
サークル活動など、生涯学習関連の活動									
満足	9	9	9	14	4	4	6	7	14
不満	11	11	11	17	9	13	11	6	14
差分(満足-不満)	-2	-2	-2	-3	-4	-9	-4	1	0
健康体操など、健康づくりの活動									
満足	12	12	13	17	9	5	8	7	21
不満	10	9	11	17	9	7	9	6	14
差分(満足-不満)	2	3	2	0	0	-2	-1	1	7
買い物や通院など、移動支援の活動									
満足	15	15	14	22	23	9	13	6	19
不満	26	23	28	36	27	29	22	19	30
差分(満足-不満)	-12	-9	-14	-14	-5	-20	-9	-14	-11
子ども会など、主に子どもが対象の活動									
満足	7	8	7	17	7	4	9	5	8
不満	16	16	16	19	22	23	15	9	15
差分(満足-不満)	-8	-8	-8	-3	-16	-20	-7	-4	-8

※5段階評価で質問/満足と不満足の結果を掲載/掲載していない回答は「どちらともいえない」

( ) 内の数値は回答ベース/グラフ数値は%



地域内の各種団体（区・自治会やNPO、ボランティア団体など）の地域活動についての満足度（問12～問33）

3/4

	全体 (492)	男性 (232)	女性 (247)	18-29才 (35)	30代 (44)	40代 (55)	50代 (95)	60代 (102)	70才以上 (161)
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動									
満足	33	31	35	44	32	32	32	31	32
不満	12	14	10	8	16	21	11	7	11
差分(満足-不満)	21	17	25	36	16	11	22	24	21
子育てなどの相談ができる場や人									
満足	10	7	13	22	13	9	12	4	9
不満	11	13	8	17	13	14	10	9	10
差分(満足-不満)	-1	-6	5	6	0	-5	2	-5	-1
子育て中の保護者同士が交流できる場									
満足	7	7	9	15	9	11	12	4	3
不満	9	9	8	9	7	15	7	6	10
差分(満足-不満)	-1	-2	1	6	2	-4	6	-2	-7
日常的な不安や悩みを相談できる場や人									
満足	12	9	15	15	9	13	13	12	12
不満	16	15	18	18	16	13	21	11	18
差分(満足-不満)	-4	-6	-3	-3	-7	0	-9	1	-6
地域づくりの今後の進め方について話し合う場や機会									
満足	6	8	5	9	5	4	7	5	6
不満	21	23	19	24	25	15	20	17	25
差分(満足-不満)	-15	-15	-15	-15	-20	-11	-13	-12	-18
農地や山林などの維持管理									
満足	6	6	5	15	7	5	3	6	5
不満	31	30	30	27	23	18	34	32	35
差分(満足-不満)	-25	-24	-24	-12	-16	-13	-31	-26	-30
空き家の管理に関する活動									
満足	2	4	1	12	2	2	2	0	2
不満	28	27	28	26	27	20	32	27	30
差分(満足-不満)	-25	-23	-27	-15	-25	-18	-29	-27	-27

※5段階評価で質問/満足と不満足の結果を掲載/掲載していない回答は「どちらともいえない」

( )内の数値は回答ベース/グラフ数値は%



地域内の各種団体（区・自治会やNPO、ボランティア団体など）の地域活動についての満足度（問12～問33）

4 / 4

全体 (492)	男性 (232)	女性 (247)	18-29才 (35)	30代 (44)	40代 (55)	50代 (95)	60代 (102)	70才以上 (161)
%	%	%	%	%	%	%	%	%

地域の広報誌の作成・回覧

満足	28	29	29	21	16	18	24	27	41
不満	13	13	11	12	7	13	16	10	14
差分(満足-不満)	16	16	18	9	9	5	8	17	27

電子メールなど、インターネットを活用した会員向けの周知・連絡

満足	14	12	15	9	11	24	15	11	13
不満	15	14	16	9	14	13	18	12	18
差分(満足-不満)	-1	-1	-0	0	-2	11	-3	-1	-6

ブログやInstagramなど、インターネットを活用した対外的な広報

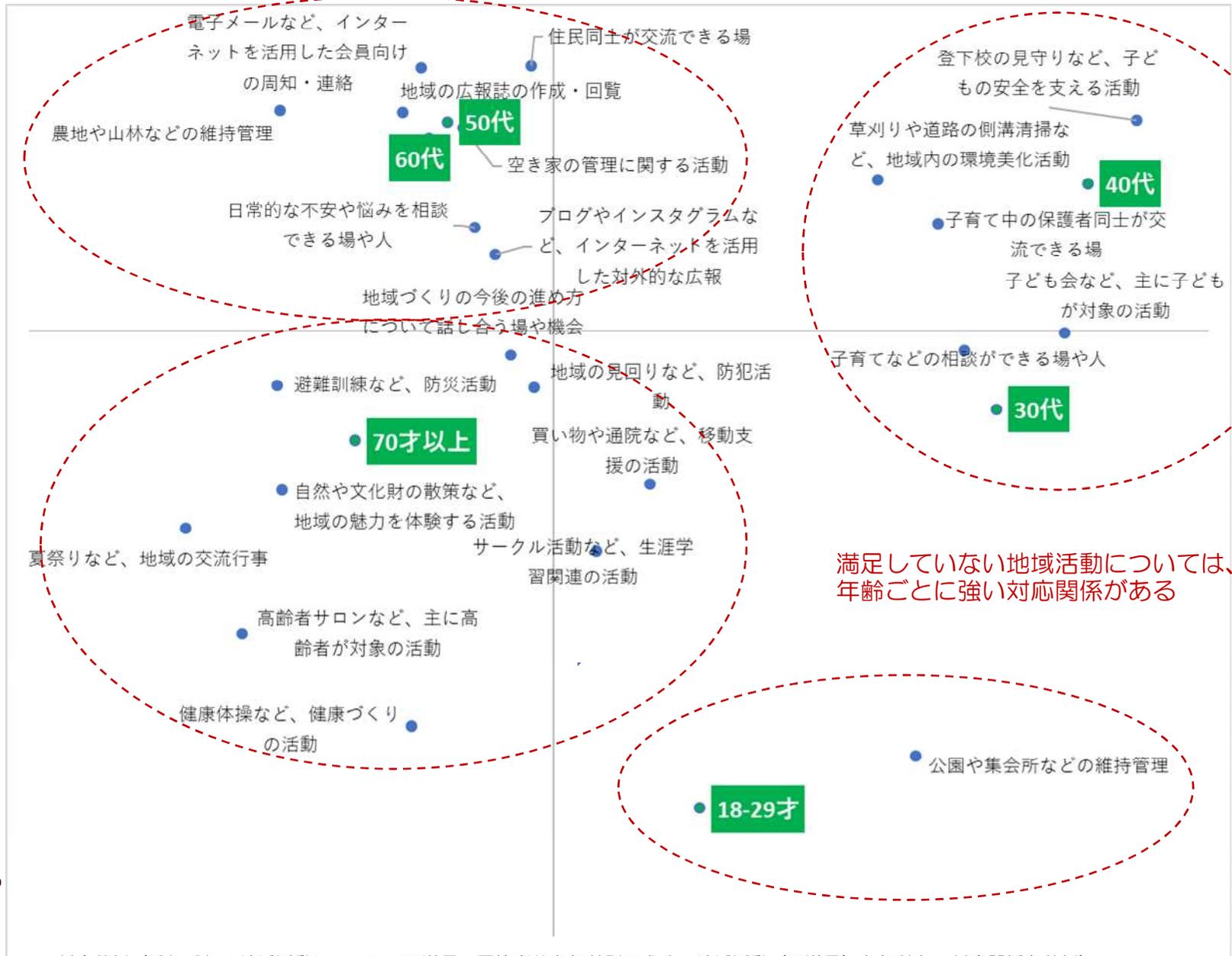
満足	11	9	12	12	9	15	12	10	10
不満	16	17	14	15	18	11	17	12	18
差分(満足-不満)	-5	-7	-2	-3	-9	4	-5	-2	-8

※5段階評価で質問/満足と不満足の結果を掲載/掲載していない回答は「どちらともいえない」

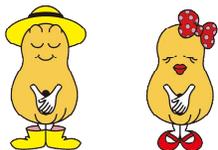
( ) 内の数値は回答ベース/グラフ数値は%



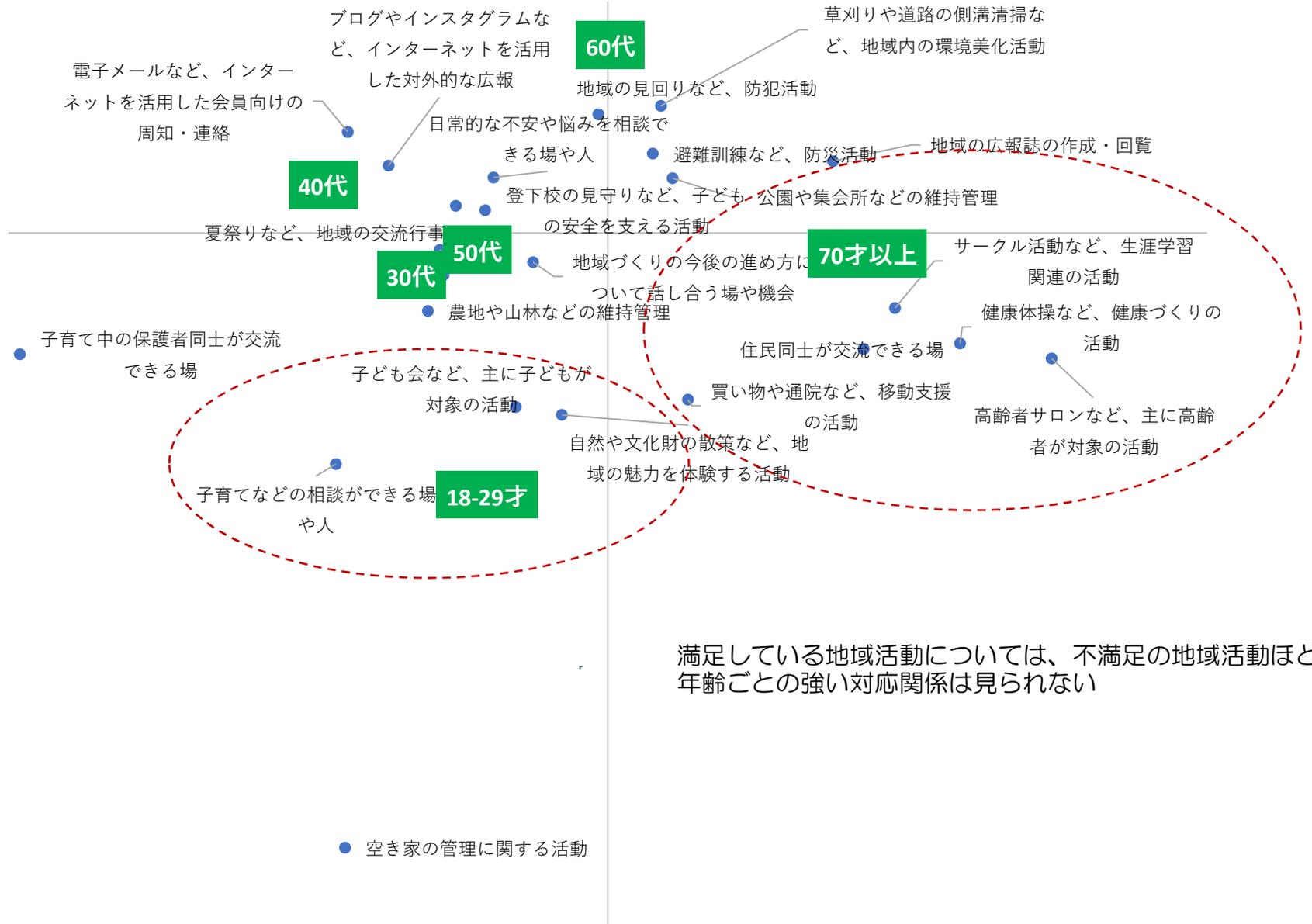
# それぞれの地域活動（不満足回答）と年齢との対応関係



※対応分析（それぞれの地域活動についての不満足回答者数を年齢別に求め、地域活動（不満足）と年齢との対応関係を分析）

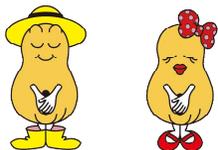


# それぞれの地域活動（満足回答）と年齢との対応関係



満足している地域活動については、不満足な地域活動ほど、年齢ごとの強い対応関係は見られない

※対応分析（それぞれの地域活動についての満足の回答者数を年齢別に求め、地域活動（満足）と年齢との対応関係を分析）



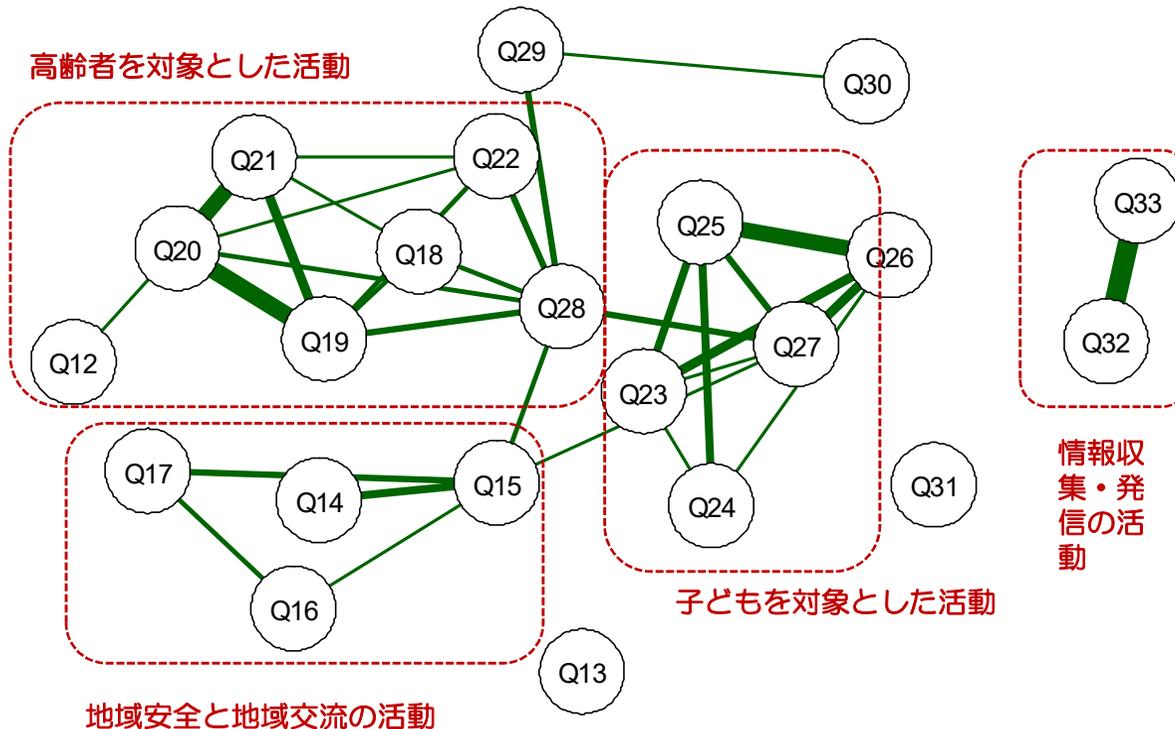
## 地域活動に不満な理由

	担い手が足りていない	参加者が少ない	専門家がない	支援が不十分	連携が不十分	活動が不十分
子育てなどの相談ができる場や人	18	43	15	22	31	36
地域の広報誌の作成・回覧	23	30	7	32	23	32
草刈りや道路の側溝清掃など、地域内の環境美化活動	14	29	14	21	34	50
夏祭りなど、地域の交流行事	28	22	15	22	25	52
公園や集会所などの維持管理	24	20	6	51	18	27
地域の見回りなど、防犯活動	29	32	6	27	33	42
買い物や通院など、移動支援の活動	22	25	16	29	22	57
住民同士が交流できる場	17	18	14	44	35	50
避難訓練など、防災活動	18	18	25	33	27	47
電子メールなど、インターネットを活用した会員向けの周知・連絡	18	16	32	26	20	54
健康体操など、健康づくりの活動	15	5	7	55	25	42
日常的な不安や悩みを相談できる場や人	39	32	11	31	28	44
ブログやインスタグラムなど、インターネットを活用した対外的な広報	48	34	20	45	36	45
子育てなどの相談ができる場や人	29	13	46	33	27	35
サークル活動など、生涯学習関連の活動	15	18	18	41	31	46
自然や文化財の散策など、地域の魅力を体験する活動	17	6	27	37	21	33
子育て中の保護者同士が交流できる場	22	18	22	26	35	44
高齢者サロンなど、主に高齢者が対象の活動	28	3	10	33	24	44
子ども会など、主に子どもが対象の活動	14	5	22	34	30	44
地域づくりの今後の進め方について話し合う場や機会	15	10	11	15	25	49
農地や山林などの維持管理	14	8	15	21	28	38
空き家の管理に関する活動	8	11	18	15	18	51

%

# 地域内の各種団体（区・自治会やNPO、ボランティア団体など）の地域活動についての満足度（問12～問33）

- 項目間の関連性（相関係数）をみると、活動対象が異なる4つの活動内容にまとめられる。
- ひとつの活動が、関連性の強い項目に対しては影響を与えている。



Q12	住民同士が交流できる場
Q13	草刈りや道路の側溝清掃など、地域内の環境美化活動
Q14	避難訓練など、防災活動
Q15	地域の見回りなど、防犯活動
Q16	公園や集会所などの維持管理
Q17	夏祭りなど、地域の交流行事
Q18	自然や文化財の散策など、地域の魅力を体験する活動
Q19	高齢者サロンなど、主に高齢者が対象の活動
Q20	サークル活動など、生涯学習関連の活動
Q21	健康体操など、健康づくりの活動
Q22	買い物や通院など、移動支援の活動
Q23	子ども会など、主に子どもが対象の活動
Q24	登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動
Q25	子育てなどの相談ができる場や人
Q26	子育て中の保護者同士が交流できる場
Q27	日常的な不安や悩みを相談できる場や人
Q28	地域づくりの今後の進め方について話し合う場や機会
Q29	農地や山林などの維持管理
Q30	空き家の管理に関する活動
Q31	地域の広報誌の作成・回覧
Q32	電子メールなど、インターネットを活用した会員向けの周知・連絡
Q33	ブログやInstagramなど、インターネットを活用した対外的な広報

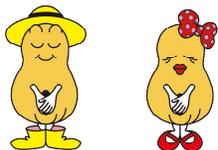
※0.4以上の相関係数を「線の太さ」で表示／ 相関係数の大きさで項目間の相対的な位置関係を表している

## 八街市のまちづくりの取り組み評価と各種団体の取り組み満足度との関連性（問41と問12～問33）

- 八街市の取り組み評価を目的変数として、各種団体への満足度（説明変数）の影響度の解析を行い、統計的に有意な影響項目を以下にまとめた。数値が大きいほど影響度が強いことを意味している。「+値」は、団体の取り組みと市役所の取り組みを好意的に評価。「-値」は、団体の取り組みと市役所の取り組み評価が相反している（逆の評価）。取り上げた項目は市役所の取り組みに強い影響を与えていることを示している。特に「-値」の項目が重要である。

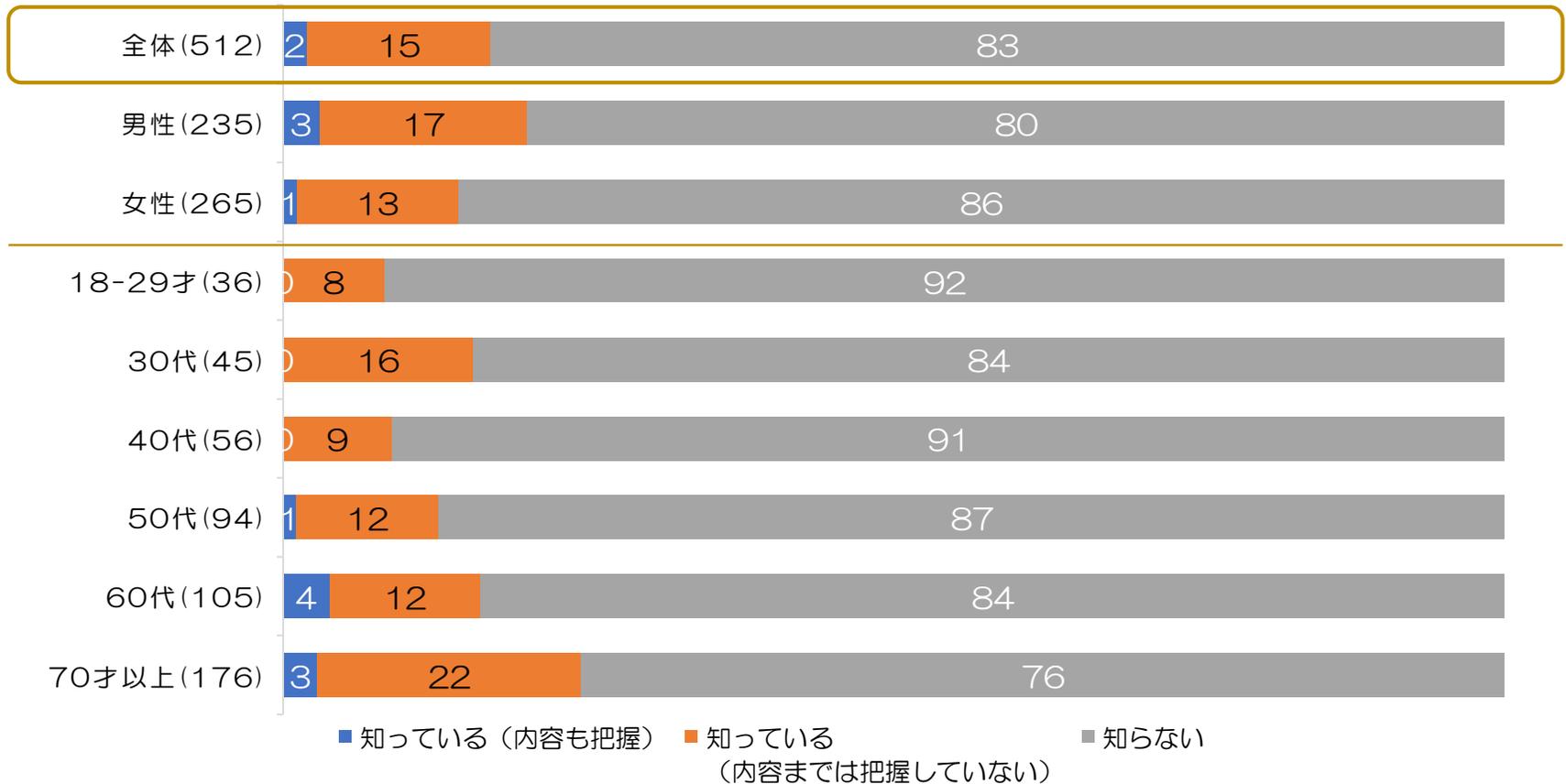
	全体 (469)	男性 (222)	女性 (235)	30代 (42)	40代 (55)	50代 (92)	60代 (96)	70代以上 (148)
住民同士が交流できる場	-	-	-	-	-	-	-	-
草刈りや道路の側溝清掃など、地域内の環境美化活動	-	-	0.19	-	-	-	-	-
避難訓練など、防災活動	-	-	-	-	-	-	-	-
地域の見回りなど、防犯活動	0.11	-	-	-	0.39	-	0.23	-
公園や集会所などの維持管理	-	-	-	-0.81	-	-	-	-
夏祭りなど、地域の交流行事	-	-	-	-	-	-	-	-
自然や文化財の散策など、地域の魅力を体験する活動	0.10	0.24	-	-	-	-	-	0.39
高齢者サロンなど、主に高齢者が対象の活動	-	-	0.22	-	0.61	-	-	-
サークル活動など、生涯学習関連の活動	-0.14	-	-	-	-	-0.40	-	-
健康体操など、健康づくりの活動	0.11	0.28	-	-	-	-	-	-
買い物や通院など、移動支援の活動	-	-	-	-	-	-	-	-
子ども会など、主に子どもが対象の活動	-	-0.17	-	-	0.33	-	-	-0.43
登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動	-	-	0.18	-	-	-	-	-
子育てなどの相談ができる場や人	-0.14	-	-	-	-	-	-	-
子育て中の保護者同士が交流できる場	-	-	-	-	-	-	-	-
日常的な不安や悩みを相談できる場や人	-	-	-	-1.14	-	-	-	-
地域づくりの今後の進め方について話し合う場や機会	-	-	-	-	-	-	-	-
農地や山林などの維持管理	-	-	-	-	-	-	-	-
空き家の管理に関する活動	-	0.15	-	-	-	-	0.23	-
地域の広報誌の作成・回覧	0.11	0.16	-	-	-	-	0.25	-
電子メールなど、インターネットを活用した会員向けの周知・連絡	-	-	-	-	-	-	0.43	-
ブログやインスタグラムなど、インターネットを活用した対外的な広報	0.12	-	-	-	-	-	-	-

※標準回帰係数（統計的に有意差の項目を掲載/±で解釈が異なる点に留意）/重回帰分析  
 ※20代以下の対象者については、回答ベースが少なく、解析結果が求められなかった。



## 八街市が「協働のまちづくり」条例を定めていることをご存じですか（問34）

- 条例の認知率は、17%。「条例の内容まで知っている」割合は、全体の2%と低い。
- 男女間の認知率に差はみられないが、70代の層では25%と、他の年代よりも認知率がやや高い結果となっている。

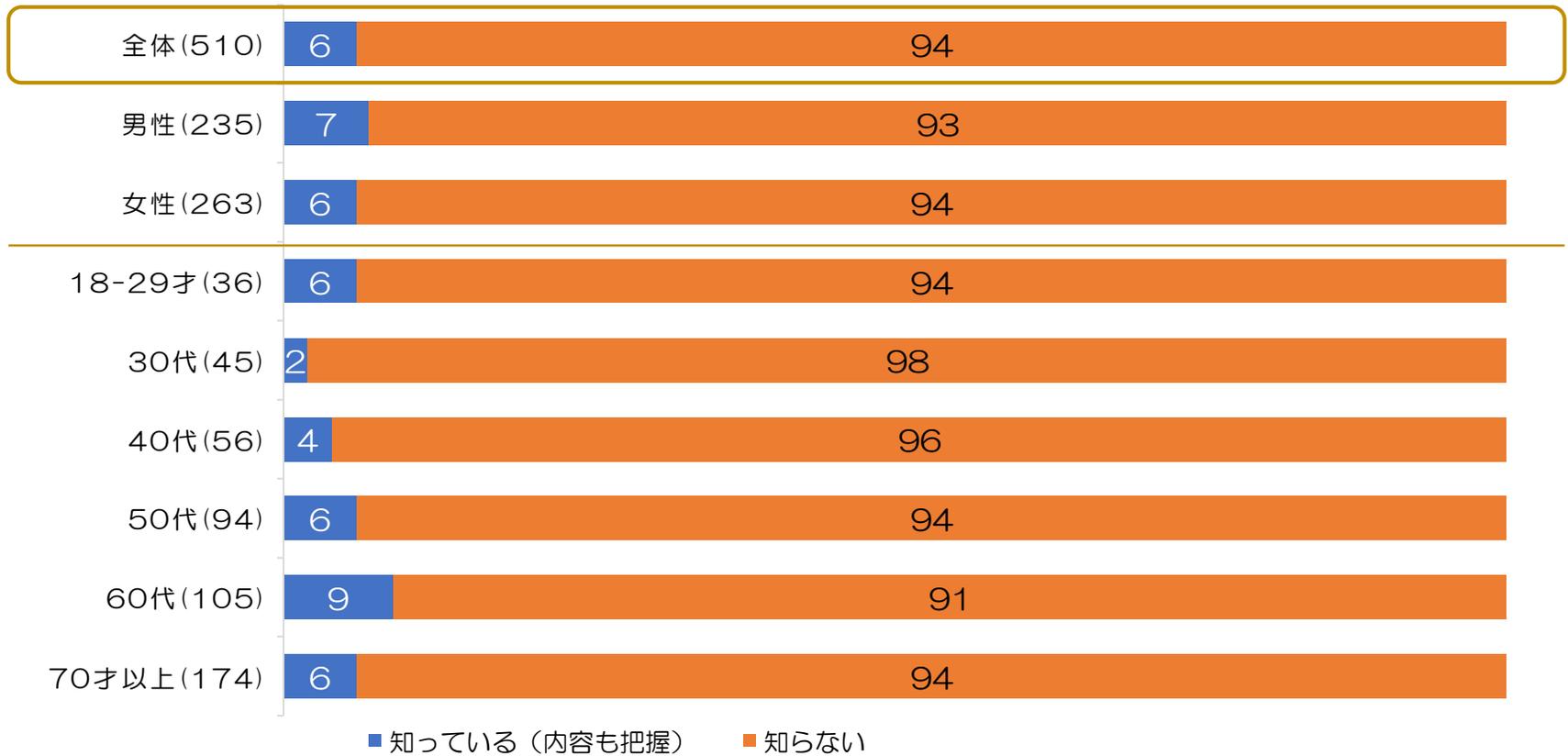


( ) 内の数値は回答ベース/グラフ数値は%



まちづくり活動や地域資源に関する情報の収集・発信、まちづくり活動に関する相談対応などを行う活動拠点として『協働のまちづくりPiT』が市役所第1庁舎1階に開設されたことをご存じですか（問35）

- PiTの認知率は、6%。
- 男女別、年齢別での差異はみられない。



( ) 内の数値は回答ベース／グラフ数値は%

## 現在住んでいる地域に、どのような課題があると考えますか（問36）

- 「移動手段」「高齢者の生活支援」「担い手不足」が課題として回答される割合が多い。次いで、「交通安全」「環境美化・保全」「防犯」となっている。
- 男女での回答パターンの違いは見られないが、若い年齢層の間では「交通安全」「子育て支援」「孤立」「つながりの希薄化」が課題として挙げられる割合が他の年代層よりも多い。

	全体 (527)	男性 (244)	女性 (269)	18-29才 (36)	30代 (45)	40代 (57)	50代 (96)	60代 (105)	70才以上 (188)
移動手段	40	34	44	42	44	44	50	34	35
高齢者の生活支援	36	36	35	31	33	30	40	37	37
担い手不足	31	32	29	33	49	42	28	30	26
交通安全	28	28	27	42	47	33	34	28	16
環境美化・保全	25	23	28	31	29	30	25	28	20
防犯	25	23	27	31	36	30	32	24	16
防災	21	22	20	14	18	19	23	25	20
つながりの希薄化	20	23	17	33	13	21	22	23	16
情報格差	17	16	17	28	20	14	20	18	14
孤立（独居やひきこもり）	17	14	17	31	27	12	17	13	15
子育て支援	13	12	14	36	42	23	14	6	3
孤立（子育てや介護）	13	10	15	28	33	25	13	7	5
異文化との交流	7	7	7	19	4	2	10	10	4

（ ）内の数値は回答ベース／グラフ数値は%

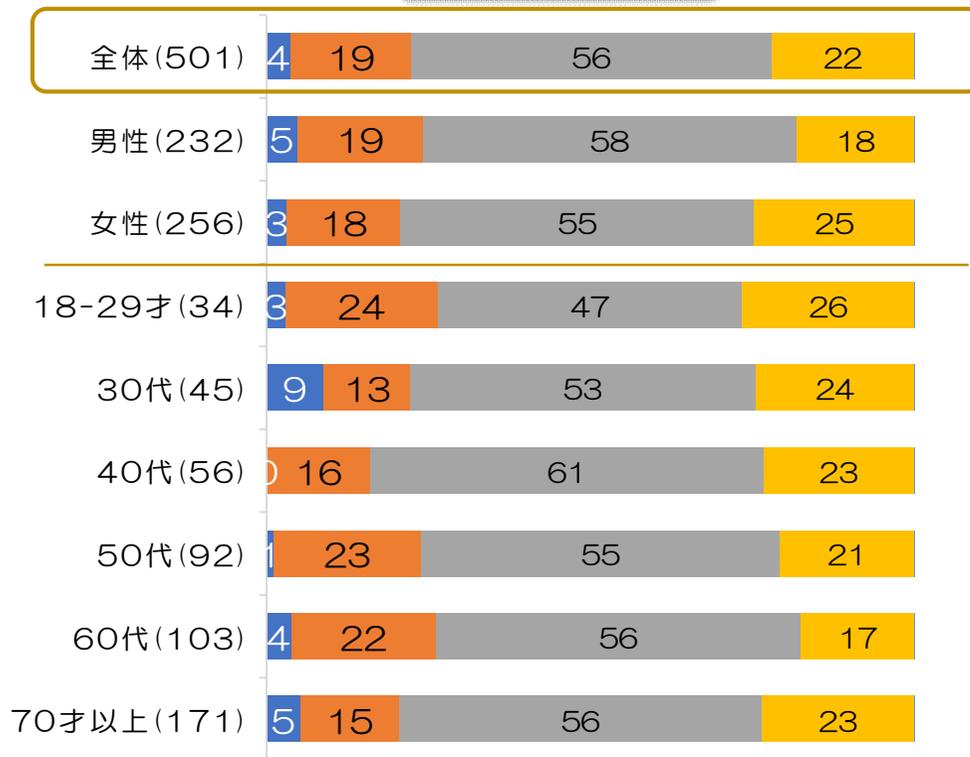


## 地域の課題解決に取り組む機会が十分にあると考えますか（問37）

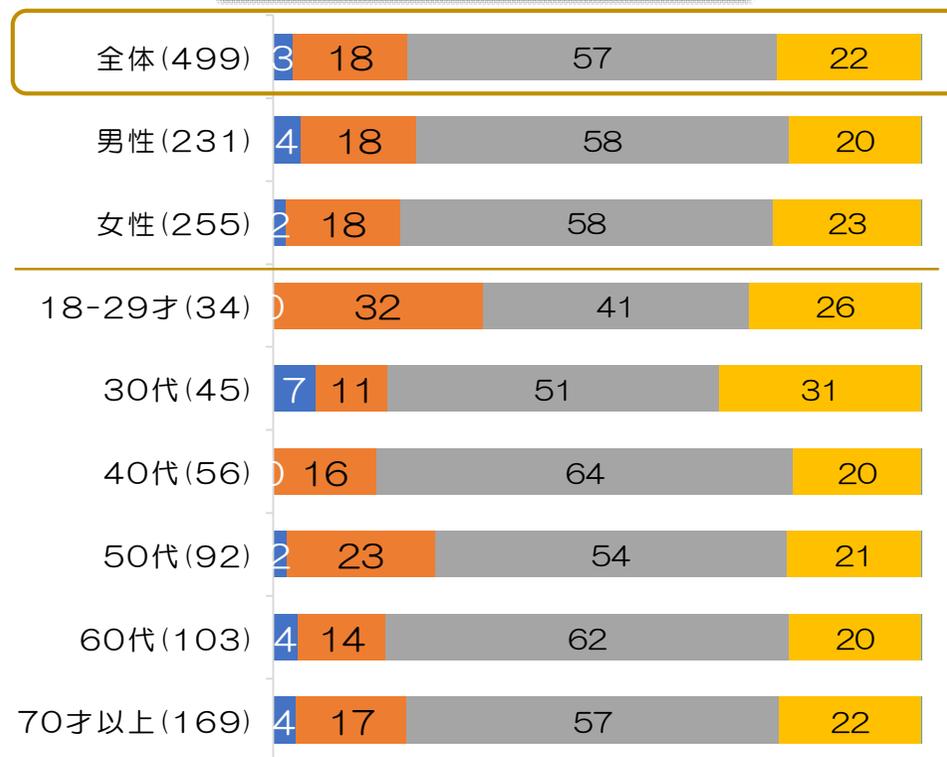
## 活動主体が連携して地域の課題解決に取り組む機会が十分あると考えますか（問38-1）

- 地域の課題に取り組む機会があるのは、全体の23%。性別、年齢別の回答パターンに差異はみられない。
- 連携して取り組む機会は、21%。地域課題に取り組む機会の回答とほぼ似通った結果となっている。
- 「全くない」の回答割合が両設問とも22%であったことから、5人のうち4人は「機会がありそうだ／あるかも知れない」と考えているとも言える。

### 取り組む機会



### 連携して取り組む機会



■ 十分にある ■ 多少ある ■ あまりない ■ 全くない

■ 十分にある ■ 多少ある ■ あまりない ■ 全くない

( ) 内の数値は回答ベース/グラフ数値は%



## 活動主体が連携して取り組みについて事例をお知らせください（問38-2）

・郵便配達時の道路欠陥の発見・報告      ・建設企業の災害時初期対応

アルソック 見守り支援

うち（農家）は野菜を八街市社協や児童養護施設へ寄付しています。

フレイル予防（市役所や高齢者施設等で行っている体操）、認知症相談（市役所や高齢者施設等で行っているもの）

ヤクルトレディによる独居老人への安否確認、2週間に一度、商品のお届け時に安否確認をしている。

移動スーパー

学校へ高齢者が訪問、高齢者施設へ子供たちが訪問し、子供たちと高齢者との交流

近所に子ども食堂ができた。

古い空き家がNPOで障害者支援の食堂になっていた。

交通機関が不便な地域でのライドシェア活動

子ども食堂

子供110番の札がある家には、非常時、その建物内で子供を一時、保護してあげられる。

私は危険物乙種の免許を持っているので、これを活かせる仕事がないか？シルバー人材センターに登録したが無いようで、今年は公園清掃の仕事をさせてもらった。

小中学生の登下校時の見守り活動

新聞配達も

生協コープの配達員が配達の際に声かけをして、その結果に注意を払っていることを聞いたことがある。

読売新聞さんが高齢者の見守りをしている

買い物支援、移動スーパーでの高齢者の見活動活動

八街にしか出来ないことをやる

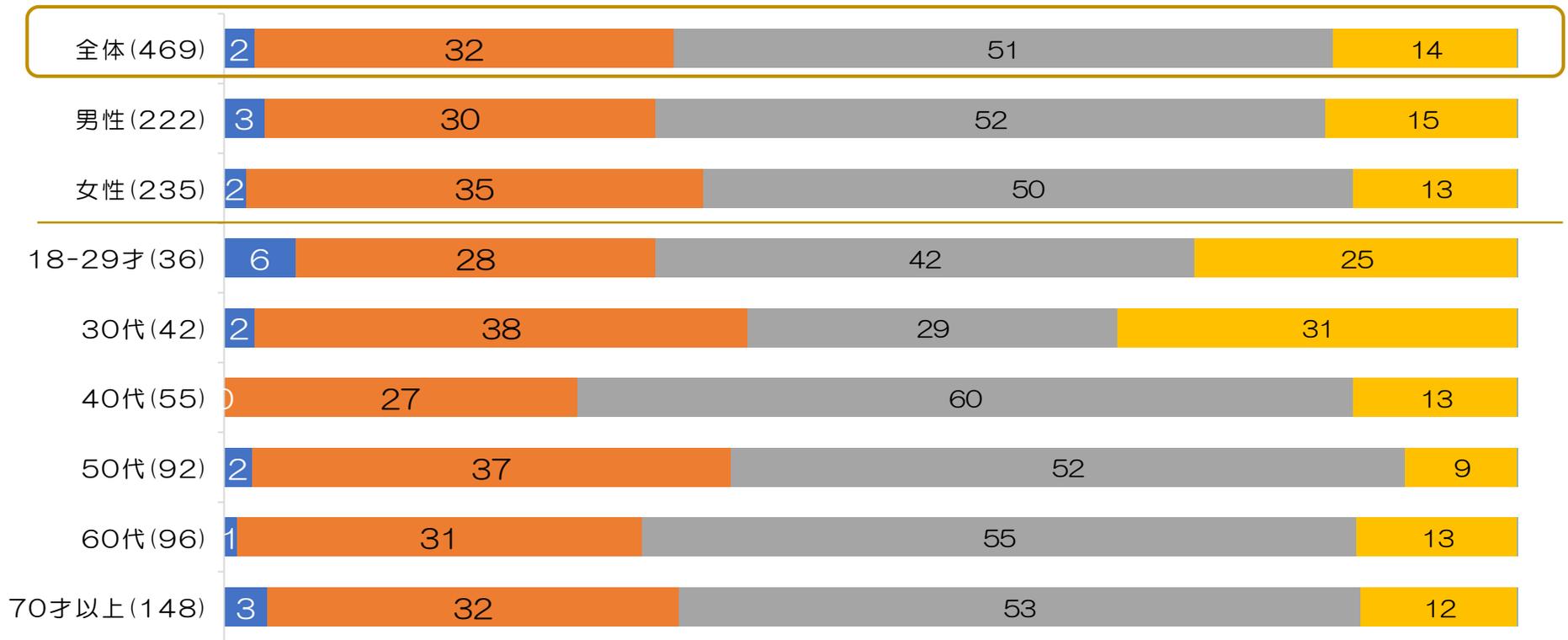
郵便配達員が地域の道路状況（陥没等）を見かけたら行政へ連絡する



※回答内容をそのまま掲載

## 八街市は協働のまちづくりにどの程度取り組んでいるまちだと思いませんか（問41）

- 八街市の取組を評価している割合は、全体の34%。全く取り組んでいないの割合は14%。
- 性別、年齢別で回答パターンに大きな差異はみられないが、30代の「全く取り組んでいない」の回答割合が31%とやや多い結果となっている。



■ 十分に取り組んでいる ■ 多少取り組んでいる ■ あまり取り組んでいない ■ 全く取り組んでいない

( ) 内の数値は回答ベース/グラフ数値は%



